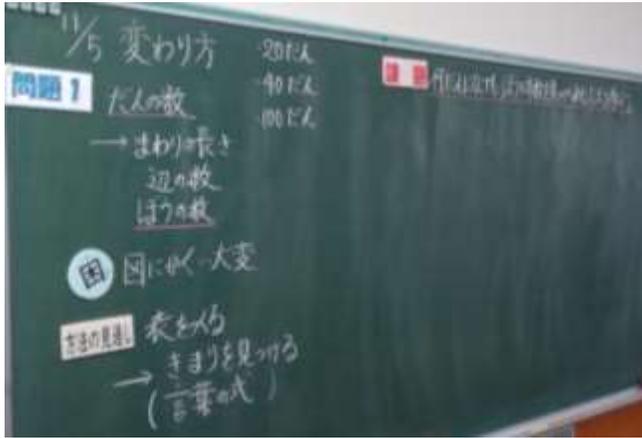


授業のポイント



①自ら課題を見いだす導入をする



問題場面を順に提示し、「だんの数」と「ぼうの数」の関係性に着目できるようにしている。さらに、100段を示し、規則性をみいだすことができるようにしている。

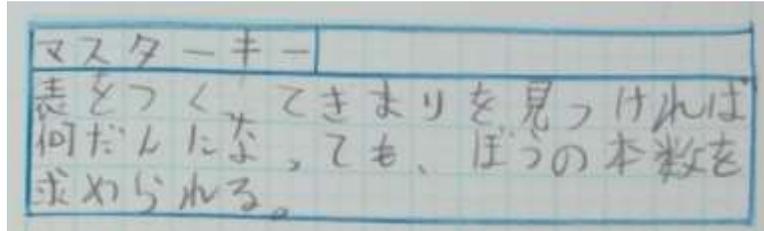
②対話を通して、納得を生み出す追究をしている



表を指し示したり、図と式を関連付けたりしながら、相手が納得できるように筋道立てて説明している。一時間を通して、全員が数学的な見方・考え方が働かせ続けている。

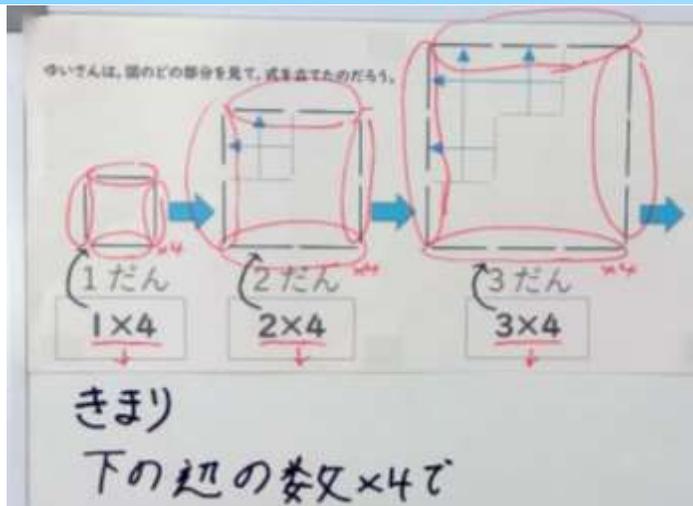


解決するための方法をノートに蓄積



「表をつくってきまりを見つければ何だんになっても求められる」と、これからの問題解決になる考え方を「マスターキー」として位置付けている。

発展的な問題



「 1×4 、 2×4 、 3×4 は図をどのように見たんだろう」という問題を出し、式から図の関連を図ることができるようにしている。